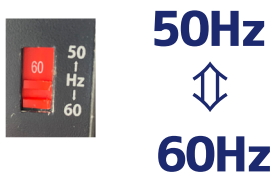


※ 始動前に本体同梱の説明書を必ずお読みください

まずはじめに

- 1** 周波数スイッチを使用する電気機器の周波数に合わせてください

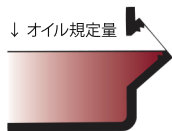


- 2** 無鉛ガソリンを本体へ入れてください



使用燃料：
無鉛ガソリン
(自動車用レギュラーガソリン)
タンク容量：
13L

- 3** オイルを本体へ入れてください



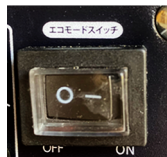
※ 発電機本体を水平に置いた状態です

エンジンオイル：
API分類SE級以上の4サイクルエンジン用オイル
(SEA10W-30または10W40)

エンジンオイル容量：0.47L

※ オイルが少ない場合には始動しません
また、規定量以上に給油しないでください

- 1** 始動前に接続されている電気機器をすべてはずし、エコモードスイッチを【OFF】にします



- 2** エンジンスイッチを【ON】にします



- 3** チョークレバーを手前に引き始動位置に合わせます



※ 燃料タンクを密閉すると、燃料がエンジンに供給出来なくなるため給油口の蓋には空気穴が設置してあります。
燃料が満タンに入っている状態で本体が傾きますと、ガソリンが逆流し、漏れ出す可能性があります。

移動、持ち運びの際は十分にお気を付けください。

お車での移動の際は、転倒の恐れもある為、ガソリンは携行缶にいれての持ち歩きを推奨しております。

POINT

リコイルスターターを何度引いてもかからない場合は、**チョークレバーの位置を変更して、**再度始動を試みてください。

- 4** 燃料コックを【-】「ON」にします



- 5** リコイルスターターを勢よく引きます

リコイルスターターを軽く引き出し重くなった状態から勢よく引いて下さい。

発電機が倒れないように、手でハンドルを押さえて下さい。



- 7** コンセントを接続

電気機器の電源がOFFになっていることを確認してからコンセントに接続します。



- 6** チョークレバーをゆっくりと引き運転位置に合わせます

エンジンの回転が安定したら、運転位置へゆっくりと合わせます。



- 8** 電気機器の電源をONにします

長期保管手順

ACCESS® AQ3300ig

使用後、または長期（30日以上）ご使用にならない場合は、以下の作業を行なって保管し、次に使用する時に備えてください。

※ 作業前に本体同梱の説明書を必ずお読みください

- 1** エンジンスイッチを【OFF】にしてエンジンを停止します



- 2** 燃料タンクキャップを取り外し燃料タンクフィルターを取り外します。燃料タンク内の燃料を適当な容器に抜き取ってから燃料タンクキャップを元の位置に取り付けます。

- 3** 燃料コックを【I】「ON」にします



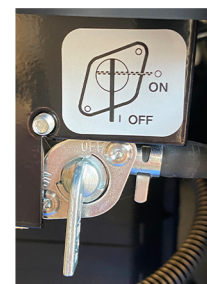
- 4** キャブレタードレン スクリューを弛めて燃料を抜きます。

燃料は容器に受け、こぼれた燃料はただちに布きれ等で完全にふきとってください。

キャブレタ内のガソリンを抜かず、に長期間放置すると、ガソリンが変質しエンジンがかからなくなる場合があります。

- 5** キャブレタードレン スクリューをきっちりと締めてください

- 6** 燃料コックを【I】「OFF」にします



燃料のガソリンは高い引火性と爆発力がありますので、次の事項を必ずお守りください。

- 燃料の抜き取りは、換気の良い場所でエンジンを停止してから行なってください。
- 燃料の抜き取り中は、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけないでください。また静電気が発生しないように注意して行なってください。
- 燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、または燃料が目に入ったりした場合は、ただちに医者診断を受けてください。また燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は石鹸と水でただちに洗い、衣類は取り替えてください。

警告

- 燃料が変質してエンジンの始動が困難になる場合がありますので燃料は抜いてください。

